

早稲田大学 実体情報学博士プログラム
実体情報学コース
学生募集要項 (2014年9月 進入・編入)

プログラムコーディネーター 菅野重樹 (総合機械工学専攻)
 サブコーディネーター 小林哲則 (情報理工学専攻)

本プログラムの目的

実体情報学博士プログラムでは、「情報系」と「機械系」の融合学としての新領域である「実体情報学 (Embodiment Informatics)」において、イノベーションを先導する「先見力」、「構想力」、「突破力」を兼備した「システム・ネクスト」リーダーを養成する。

国内外の第一級の教員を結集し、産学協働と海外大学連携により、本学が先導し、修士課程および博士後期課程合わせて5年一貫の世界に通用する質の保証された学位プログラムである。この学位取得のプログラムを「実体情報学コース」と呼ぶ。

本コースの特色

- 学問的刺激に満ちた主体的研鑽の場として、学生・教員・企業の教育・研究共有空間である「工房」を設置 (ラムダックスビル3階)
- 学究に専念できるよう、奨励金をはじめ、充実した経済的サポートを提供
- 複数指導体制の教育、企業・海外連携をベースにしたコロキウム、スクーリング科目の設置によるイノベーション事例習得を通じて先見力を養成
- 異分野先端技術・問題解決パラダイムの講義や異分野交流および実習を通じて構想力を養成
- サマースクール、異分野インターン、長期海外研修、リーダーシップ論などを通して突破力を養成
- 明確な評価基準に基づく厳格な Qualifying Examination (以下 QE)、学位審査による成績評価を実施し、毎年約18名の「システム・ネクスト」リーダーを輩出
- 主指導教員と副指導教員、学外のプログラム教員からなる審査委員会 (アドバイザーチーム) により質を担保

1. 出願資格

- ◇下記の専攻に、2014年9月から修士課程1年、2年および博士後期課程1年に進級・進学予定の方
- －基幹理工学研究科 (数学応用数理専攻, 機械科学専攻, 情報理工・情報通信専攻, 表現工学専攻)
 - －創造理工学研究科 (総合機械工学専攻, 経営システム工学専攻)
 - －先進理工学研究科 (物理学及应用物理学専攻, 生命理工学専攻)
 - －環境・エネルギー研究科 (環境・エネルギー専攻)
 - －国際情報通信研究科

- ◇下記の専攻に、2014年9月から博士後期課程1年に進学予定の方
- －情報生産システム研究科* (情報生産システム工学専攻)

*以下、IPSと表記

2. 募集人員 各学年 若干名

3. 学生説明会 2014年7月16日 (水) 12:15~13:00 (終了予定) 於・55号館S棟2階第4会議室

4. 出願期間 西早稲田: 2014年7月16日 (水) ~ 23日 (水) 正午 I P S: 2014年7月16日 (水) ~ 21日 (月) 正午

5. 出願書類 (志願票)

出願書類一式は出願希望者にのみメール添付で配付。出願希望者は必ず末尾記載の事務局まで「実体情報学コース出願希望」の旨、メールにて連絡すること。

※付番した志願票を配付するため、所属ゼミ内等で志願票データを転送・共有しないこと。

また、以下の通り学年によって提出する書類が異なるため、出願希望のメールには本年9月からの学年も記載すること。 ●…出願者全員提出、○…該当学年、該当者のみ提出

- 全学年共通: 2014年度早稲田大学実体情報学博士プログラム志願票
- 他大学出身者: 成績証明書 (出願時点での最新情報が反映されたもの)

- 新 修 士 1 年：卒業論文概要書
- 新 修 士 2 年：修士論文研究計画書
- 新博士後期課程1年：修士論文概要書

6. 提出方法

西早稲田：市販の封筒（角型2号：A4サイズ）に出願書類を封入し、理工学術院統合事務所総務課（西早稲田キャンパス・51号館1階）カウンターに設置の黒箱に提出すること。

I P S：IPS事務所に提出すること。

7. 選抜方法・選抜スケジュール

選抜は次のスケジュールに従い出願書類および面接試験を総合的に判定して行う。過去にTOEIC、TOEFL、英検、TEP-TESTを受験したことのある者はスコアおよび合格級を志願票に記載すること（スコア票等の添付は不要）。

面接内容・時間等：今までの研究内容、志願動機、今後（本コース進入後）取り組みたい研究内容、将来のビジョンについてのプレゼンテーション（10分）と質疑応答。実体情報学に関連する基礎知識についての技術面接。

キーワード：ネットワーク、プログラミング、力学、メカトロニクスなど。

面接時間は質疑応答を含め一人当たり40分～60分程度を予定。

書類審査結果通知：7月25日（金）事務局より結果をメール送信

面接試験：8月2日（土）、8月3日（日）

（上記日程のどちらか1日。スケジュール詳細は書類審査合格者へ後日連絡。）

選抜結果通知：8月5日（火）

プログラム参加誓約書提出：8月7日（木）正午まで

奨励金支給に関するヒアリング：8月20日（水）～8月29日（金）の平日9時～17時（予定）

※ヒアリング日程については相談可

※書類審査、選抜結果の合否結果は、事務局より志願票に記載されたEメールアドレスに通知する。

8. コース履修期間

コース履修生の履修期間は2014年9月21日から博士後期課程修了時までとする。ただし、修士1年から修士2年への進級時、博士後期課程1年から博士後期課程2年への進級時、博士論文審査時には、QEを実施する。

9. 奨励金

本コース履修生には最大で月額20万円（年額換算240万円）の奨励金が支給される（奨励金選考委員会での承認後）。なお、奨励金を受給した場合は、日本学生支援機構奨学金等の受給や、TA、RA、アルバイト活動ができなくなるので留意すること（現時点では、早稲田大学が独自で支給している学内奨学金は重複して受給可能としている。詳細は実体情報学博士プログラム事務局まで問い合わせること）。

※奨励金の支給金額についてはあくまで今年度の参考実績額。来年度以降は変更になる可能性もある。

10. コース履修手続

コース履修手続に関しては、選抜合格者に別途事務局より連絡する。

11. その他注意事項等

- ・本コースに進入した場合においても、2014年9月以降所属する研究科・専攻および研究指導に変更はない。
- ・本コースは5年1貫のカリキュラムであるが（本コースではL1～L5と表記する）、修士1年の学生はL1扱い、修士2年の学生はL2扱い、博士後期課程1年の学生はL3扱いとしてプログラムに参加する。
- ・日本学術振興会特別研究員として採用されている期間は奨励金を受給することはできないが、海外研修等本コースの履修にあたって必要となる経費については本プログラムで支援される。
- ・出願書類に不備があった場合、出願を受け付けない場合がある。
- ・一度提出した出願書類の変更は認めない。

- ・一度提出した出願書類の返還は行わない。
- ・出願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）については試験実施、合格者発表、履修手続きおよびこれに付随する業務のためのみに使用する。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正使用等がないよう、必要かつ適切な管理を行う。また上記業務の全部又は一部を委託する場合がある。その場合は、委託先に対し契約等により、必要かつ適切な管理を義務付ける。
- ・本コースを修了できなかった場合、原則として受領した奨励金を全額返金しなければならない。

12. 問合せ先

実体情報学博士プログラム事務局

西早稲田キャンパス 51号館 1階 08A室（教育研究プロジェクト支援室内）

支援室開室時間：平日 9:00-12:30, 13:30-17:00

Eメールアドレス：leading-sn-info@list.waseda.jp

以上